

野菜生産出荷近代化計画の概要

指定野菜の種別	野菜指定産地	区域	指定年月日	計画樹立(上)計画変更(下)年月日	野菜生産出荷近代化計画の概要	
					現状(平成26年)と目標(平成32年)	生産出荷近代化に向けた方策
春キャベツ	稲沢	稲沢市	S61.2.24	S62.1.30 H28.3.31	○作付面積 34ha→34ha(100%)※ ○生産数量 1,220t→1,360t(111%)※ ○10a 当たり生産数量 3,588kg→4,000kg(111%)※ ○出荷量 1,150t→1,165t(101%)※ ○共同出荷率 81%→83% ※	○セル成型苗用定植機や乗用管理機の導入 ○通いコンテナを利用した出荷による省力化 ○4～5月収穫品種の導入による作期拡大及び規模拡大の推進 ○農業塾等の取組による多様な担い手の確保・育成 ○新規就農者に対する指導等支援体制の整備
春キャベツ	渥美	田原市	H11.5.20	H12.3.31 H28.3.31	○作付面積 582ha→605ha(104%) ○生産数量 36,200t→38,024t(105%) ○10a 当たり生産数量 6,220kg→6,282kg(101%) ○出荷量 34,400t→36,040t(105%) ○共同出荷率 64%→64%	○加工用に適した品種の選定及び収穫機の導入等による加工・業務用の生産拡大 ○セル成型苗を利用した機械定植による経営規模の拡大推進 ○パレット又はパレテーナの利用による出荷作業の省力化 ○エコファーマーの育成及び安心・安全なキャベツ生産の推進
冬キャベツ	知多	常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町	S41.8.18	S42.1.12 H28.3.31	○作付面積 161ha→149ha(93%)※ ○生産数量 6,710t→6,480t(97%)※ ○10a 当たり生産数量 4,170kg→4,350kg(104%)※ ○出荷量 6,070t→6,014t(99%)※ ○共同出荷率 68%→71% ※ (*26年度区域拡大により統計値と異なる)	○多様な担い手確保・育成と農協出荷への誘導による共同出荷率の向上 ○農協育苗センター等の活用による育苗作業の軽減 ○移植機、ブームスプレーヤー及び収穫機等の導入による省力化 ○加工・業務用向け契約取引の拡大による農家所得の安定化 ○鉄コンテナ等大型容器を利用した加工・業務用向け出荷の省力化 ○安心・安全なキャベツ生産の推進
冬キャベツ	渥美	田原市	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 2,200ha→2,288ha(104%) ○生産数量 111,200t→116,804t(105%) ○10a 当たり生産数量 5,055kg→5,105kg(101%) ○出荷量 106,210t→110,500t(104%) ○共同出荷率 51%→51%	○加工用に適した品種の選定及び収穫機の導入等による加工・業務用の生産拡大 ○セル成型苗を利用した機械定植による経営規模の拡大推進 ○パレット又はパレテーナの利用による出荷作業の省力化 ○エコファーマーの育成及び安心・安全なキャベツ生産の推進
冬キャベツ	豊橋	豊橋市	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 1,710ha→1,744ha(102%) ○生産数量 70,500t→71,290t(101%) ○10a 当たり生産数量 4,123kg→4,164kg(101%) ○出荷量 67,200t→69,250t(103%) ○共同出荷率 60%→60%	○春どり作型の導入によるキャベツ経営の専作化 ○全自動移植機等を活用した省力化による経営規模の拡大 ○鉄コンテナ等大型容器を利用した契約出荷の推進 ○エコファーマーの育成及び安心・安全なキャベツ生産の推進
冬キャベツ	豊川宝飯	豊川市	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 40ha→38ha(95%) ○生産数量 1,790t→1,718t(96%) ○10a 当たり生産数量 4,475kg→4,520kg(101%) ○出荷量 1,690t→1,630t(96%) ○共同出荷率 73%→73%	○農協出荷の推進による共同出荷率の維持・向上 ○出荷規格の見直し及び直販事業の拡大 ○加工・業務用仕向けの拡大及び新規就農者の確保による作付面積の維持
たまねぎ	知多	常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町	S41.8.18	S43.1.25 H28.3.31	○作付面積 269ha→236ha(88%)※ ○生産数量 11,400t→10,370t(91%)※ ○10a 当たり生産数量 4,240kg→4,390kg(104%)※ ○出荷量 10,900t→9,340t(86%)※ ○共同出荷率 64%→57% ※	○農協育苗センターの活用による育苗作業の軽減 ○セル成型苗を利用する定植機及び収穫機の利用による省力化と規模拡大の推進 ○通いコンテナの活用等による出荷調整作業の省力化及び契約取引の拡大 ○極早生品種(ブランド名「たま坊」)の作期拡大による長期安定出荷の実現 ○新規栽培者の確保
たまねぎ	碧南西尾	碧南市、西尾市	S45.12.22	S47.8.28 H28.3.31	○作付面積 188ha→195ha(104%) ○生産数量 11,900t→11,720t(98%) ○10a 当たり生産数量 6,330kg→6,010kg(95%) ○出荷量 11,000t→11,080t(101%) ○共同出荷率 77%→77%	○加工・業務用の生産及び契約取引の拡大による農家経営の安定 ○「へきなんサラダたまねぎ」(3、4月出荷)のブランド確立による差別化 ○掘り取り機等の導入による収穫作業の省力化 ○フェロモントラップを利用した適期防除の推進

指定野菜の種別	野菜指定産地	区域	指定年月日	計画樹立(上)計画変更(下)年月日	野菜生産出荷近代化計画の概要	
					現状(平成26年)と目標(平成32年)	生産出荷近代化に向けた方策
秋冬はくさい	江南	江南市	S41.8.18	S43.8.24 H28.3.31	○作付面積 19ha→17ha (90%) ※ ○生産数量 853 t→850 t (100%) ※ ○10a 当たり生産数量 4,584kg→5,000kg (109%) ※ ○出荷量 784 t→700 t (89%) ※ ○共同出荷率 61%→71% ※	○通いコンテナの活用等による出荷調整作業の省力化及び、契約取引の拡大 ○セル成型育苗の導入、共同育苗及び作業受委託による育苗作業の効率化 ○半自動型移植機の導入、集荷運搬業務の委託による省力化 ○農業塾の指定野菜専門コース開講等による多様な担い手の確保・育成 ○エコファーマーの育成等環境と安全に配慮したはくさい生産の推進
秋冬はくさい	愛知西	一宮市、稲沢市	H20.5.7	H21.5.27 H28.3.31	○作付面積 31ha→31ha (100%) ※ ○生産数量 1,510 t→1,700 t (113%) ※ ○10a 当たり生産数量 4,900kg→5,500kg (112%) ※ ○出荷量 1,430 t→1,500 t (105%) ※ ○共同出荷率 99%→98% ※	○地元量販店及び加工業者等を対象とした契約取引の拡大 ○実需者のニーズに合った大型出荷容器の導入による出荷調整作業の省力化 ○セル成型苗を用いた定植機の導入による省力化 ○出荷規格の見直しによる出荷調製作業の軽減 ○パート導入希望農家に対する雇用者確保の支援 ○環境と安全に配慮したはくさい生産の推進
秋冬はくさい	三好豊田	豊田市、みよし市	S45.12.12	S47.8.28 H28.3.31	○作付面積 47ha→48ha (102%) ※ ○生産数量 2,205 t→2,316 t (105%) ※ ○10a 当たり生産数量 4,690kg→4,820kg (103%) ※ ○出荷量 1,890 t→1,890 t (100%) ※ ○共同出荷率 77%→83% ※	○規模拡大志向の法人及び農家に対する農地の利用集積 ○地域の栽培条件にあった品種の選定及び根こぶ病耐病性品種の導入による収量確保 ○播種期の分散による労働時間の平準化、出荷容器改良による出荷調製作業の効率化 ○生産履歴記帳の徹底、GAP手法の導入等による安全・安心なはくさい生産の推進 ○地力の維持増進及び土壌診断結果に基づく適正施肥の推進
秋冬はくさい	豊橋	豊橋市	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 183ha→165ha (90%) ○生産数量 8,010 t→7,209 t (90%) ○10a 当たり生産数量 4,377kg→4,377kg (100%) ○出荷量 7,540 t→6,786 t (90%) ○共同出荷率 79%→79%	○出荷基準の見直し及びパレット出荷の推進による出荷調製作業の軽減 ○農協による収穫作業受託の取組拡大 ○石灰欠乏症等の生理障害対策の推進
秋冬はくさい	豊川	豊川市 (旧小坂井町は除く)	S41.8.18	S42.8.25 H28.3.31	○作付面積 27ha→24ha (90%) ○生産数量 1,470 t→1,323 t (90%) ○10a 当たり生産数量 5,444kg→5,444kg (100%) ○出荷量 1,380 t→1,250 t (91%) ○共同出荷率 68%→71%	○収穫作業の受委託による生産規模拡大 ○農協出荷の推進による共同出荷率の維持・向上 ○出荷規格の見直し及び直販事業の拡大
冬春きゅうり	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 42ha→36ha (86%) ※ ○生産数量 9,940 t→8,460 t (85%) ※ ○10a 当たり生産数量 2,340kg→2,350kg (100%) ※ ○出荷量 9,360 t→8,304 t (89%) ※ ○共同出荷率 84%→89% ※	○周年生産体制の導入による市場優位性の確保 ○雇用労力の確保を支援する体制の整備 ○選果場機能を活かしたトレーサビリティの強化 ○GAP手法の導入等による安全・安心なきゅうり生産の推進
春だいこん	江南	江南市	S57.2.13	S59.1.31 H28.3.31	○作付面積 31ha→30ha (97%) ※ ○生産数量 1,560 t→1,500 t (96%) ※ ○10a 当たり生産数量 5,032kg→5,000kg (99%) ※ ○出荷量 1,510 t→1,480 t (98%) ※ ○共同出荷率 60%→68% ※	○早出し可能なトンネル栽培の導入による有利販売の実現 ○農協出資法人の農作業請負の推進による作付面積の維持 ○マルチャーや根取り機等の導入による省力化 ○組み立てが簡易な出荷ダンボール及びパレットを活用した出荷の推進 ○農業塾の取組や農協出資法人による多様な担い手の確保・育成 ○農協出荷への誘導による共同出荷率の向上、野菜価格安定対策事業の加入推進
春だいこん	愛西	愛西市	H12.5.19	H14.1.4 H28.3.31	○作付面積 44ha→44ha (100%) ※ ○生産数量 2,220 t→2,220 t (100%) ※ ○10a 当たり生産数量 5,045kg→5,078kg (101%) ※ ○出荷量 2,120 t→1,900 t (90%) ※ ○共同出荷率 87%→87% ※	○作型分散による年間を通じた労働時間の平準化 ○一粒播種の導入による間引き作業の軽減及び作業受託の推進 ○雇用労働力の活用及び農地集積による経営規模の拡大推進 ○播種時期に適した品種の選定 ○2 出荷組織の出荷規格の統一に向けた検討

指定野菜の種別	野菜指定産地	区域	指定年月日	計画樹立(上) 計画変更(下) 年月日	野菜生産出荷近代化計画の概要	
					現状(平成26年)と目標(平成32年)	生産出荷近代化に向けた方策
冬春トマト	海部	津島市、愛西市、 弥富市、飛島村	S41.8.18	S41.9.16 H28.3.31	○作付面積 49ha→49ha (100%) ○生産数量 6,100 t→6,287 t (103%) ○10a 当たり生産数量 12,449kg→12,698kg (102%) ○出荷量 5,860 t→5,977 t (102%) ○共同出荷率 73%→73%	○生食用出荷不適果のジュース等加工業務向け出荷、契約取引の拡大 ○実需者等のニーズに合った品種及びトマト黄化葉巻病等の抵抗性品種の導入検討 ○炭酸ガス施用技術、統合環境制御技術の導入推進 ○安全・安心なトマト生産の推進
冬春トマト	渥美	田原市	S43.4.10	S45.8.25 H28.3.31	○作付面積 124ha→126ha (102%) ○生産数量 12,400 t→13,280 t (107%) ○10a 当たり生産数量 10,000kg→10,500kg (105%) ○出荷量 11,900 t→12,700 t (107%) ○共同出荷率 88%→88%	○消費者ニーズに合った品種の導入及び契約取引による有利販売の推進 ○自動選果機による出荷労力の軽減及び糖度センサーを活用したブランド化の推進 ○ミニトマト農家ごとの機械選果の実施及び、3キロバラ詰め等の新規格導入による出荷調整作業の省力化 ○部会組織の再編・統合の検討
冬春トマト	豊橋	豊橋市	S42.6.19	S44.1.27 H28.3.31	○作付面積 117ha→117ha (100%) ○生産数量 11,300 t→11,865 t (105%) ○10a 当たり生産数量 9,658kg→10,141kg (105%) ○出荷量 10,800 t→11,290 t (105%) ○共同出荷率 94%→93%	○環境制御装置、養液栽培及びハイワイヤー誘引等の導入による生産性の向上 ○購入苗の利用等により省力化 ○契約取引や直接販売による流通経費の削減及び有利販売の実現 ○高糖度やカラー系トマトなど、高付加価値生産の推進
冬春トマト	豊川宝飯	豊川市	S42.6.19	S45.1.25 H28.3.31	○作付面積 62ha→61ha (98%) ○生産数量 5,330 t→5,485 t (103%) ○10a 当たり生産数量 8,597kg→9,027kg (105%) ○出荷量 5,120 t→5,260 t (103%) ○共同出荷率 91%→91%	○東三河地域の農協と連携した関東市場への重点的な販売 ○消費者ニーズに合った高品質トマトの生産拡大及び栽培技術の向上によるブランド化の推進 ○新規栽培者の確保及び若手農家の規模拡大による産地規模の維持
夏秋なす	岡崎額田	岡崎市、幸田町	H15.2.18	H15.3.24 H28.3.31	○作付面積 24ha→22ha (92%) ※ ○生産数量 1,360 t→1,335 t (98%) ※ ○10a 当たり生産数量 5,667kg→6,060kg (107%) ※ ○出荷量 1,180 t→1,200 t (102%) ※ ○共同出荷率 73%→73% ※	○認定農業者に対する経営規模の拡大推進 ○農協運営の農業塾を活用した定年退職者等多様な担い手の確保・育成 ○エコファーマーの育成等環境と安全に配慮したなす生産の推進
冬春なす	愛知西	一宮市、稲沢市	S43.10.15	S46.1.25 H28.3.31	○作付面積 18ha→14ha (78%) ※ ○生産数量 1,890 t→1,480 t (78%) ※ ○10a 当たり生産数量 10,500kg→10,571kg (101%) ※ ○出荷量 1,830 t→1,400 t (77%) ※ ○共同出荷率 71%→80% ※	○経営安定を目指した夏秋どり作型の導入検討 ○「JA愛知西なす協議会」が産地として一体的な活動が展開できるよう体制整備 ○単為結果性品種、施設内環境制御装置及び省力機械の導入による省力化 ○環境と安全に配慮したなす生産の推進及び情報発信
冬春なす	弥富	弥富市	H5.8.31	H5.9.6 H28.3.31	○作付面積 6ha→6ha (101%) ○生産数量 619 t→638 t (103%) ○10a 当たり生産数量 10,317kg→10,523kg (102%) ○出荷量 610 t→622 t (102%) ○共同出荷率 75%→75%	○ミツバチ等訪花昆虫の利用による受粉作業の省力化 ○単為結果性品種の導入及び苗の共同購入による栽培管理の省力化 ○契約取引向けのコンテナ出荷の導入による出荷経費の削減 ○加工・業務用を中心とした契約取引の拡大 ○エコファーマーの育成等環境と安全に配慮したなす生産の推進
冬春なす	西三河	岡崎市、碧南市 安城市、西尾市 幸田町	S49.12.19	S51.1.28 H28.3.31	○作付面積 19ha→19ha (99%) ※ ○生産数量 2,450 t→2,384 t (97%) ※ ○10a 当たり生産数量 12,630kg→12,418kg (98%) ※ ○出荷量 2,330 t→2,120 t (91%) ※ ○共同出荷率 75%→76% ※	○実需者のニーズに対応した契約取引の推進 ○学校給食や産直向けの出荷による地産地消の推進 ○講習会等を通じた「とげなし輝楽」の栽培技術向上 ○商標「とげなし美茄子」のブランド化、消費拡大

指定野菜 の種別	野菜 指定産地	区域	指定 年月日	計画樹立(上) 計画変更(下) 年月日	野菜生産出荷近代化計画の概要	
					現状(平成26年)と目標(平成32年)	生産出荷近代化に向けた方策
冬春なす	豊橋	豊橋市	S62.9.28	S62.10.14 H28.3.31	○作付面積 22ha→22ha (98%) ○生産数量 2,720 t→2,799 t (103%) ○10a 当たり生産数量 12,364kg→12,982kg (105%) ○出荷量 2,590 t→2,670 t (103%) ○共同出荷率 93%→93%	○肥培管理及び温度管理等基本技術の徹底による収量増加 ○優良品種の選定及び購入苗の利用等による栽培管理の省力化 ○エコファーマーの育成等環境と安全に配慮したなす生産の推進
冬にんじん	愛西	愛西市	S42.6.19	S44.1.27 H28.3.31	○作付面積 29ha→29ha (100%) ※ ○生産数量 1,420 t→1,420 t (100%) ※ ○10a 当たり生産数量 4,897kg→4,897kg (100%) ※ ○出荷量 1,350 t→1,300 t (96%) ※ ○共同出荷率 70%→85% ※	○規模拡大志向農家に対する農地の利用集積の推進 ○シードテープの利用、適正な機械導入による省力化、経営規模の拡大推進 ○規模拡大農家に対する雇用労働力の活用推進
冬にんじん	碧南西尾	碧南市、西尾市	S42.6.19	S43.8.24 H28.3.31	○作付面積 285ha→279ha (98%) ○生産数量 14,500 t→14,291 t (99%) ○10a 当たり生産数量 5,088kg→5,122kg (101%) ○出荷量 13,900 t→13,900 t (100%) ○共同出荷率 59%→60%	○産地ブランド「へきなん美人」の作付拡大及び消費拡大の推進 ○在来品種「碧南鮮紅」の「あいちの伝統野菜」としての販売強化 ○コーティング種子を活用した、は種及び間引き作業の省力化 ○予保冷庫を活用した鮮度保持による高品質にんじんの出荷 ○個人出荷農家に対する部会加入の促進、共同出荷率の向上
秋冬ねぎ	一宮	一宮市	S42.6.19	S45.1.25 H28.3.31	○作付面積 30ha→18ha (60%) ※ ○生産数量 547 t→330 t (60%) ※ ○10a 当たり生産数量 1,823kg→1,833kg (101%) ※ ○出荷量 285 t→130 t (46%) ※ ○共同出荷率 84%→76% ※	○半自動移植機の導入及び皮むき作業の委託による省力化 ○「はつらつ農業塾」による多様な担い手の確保・育成 ○夏ねぎとの組み合わせによる出荷期間の延長及び経営安定の推進
春はくさい	愛知西	一宮市、稲沢市	S52.12.25	S56.1.31 H28.3.31	○作付面積 21ha→21ha (100%) ※ ○生産数量 1,160 t→1,200 t (103%) ※ ○10a 当たり生産数量 5,500kg→5,700kg (104%) ※ ○出荷量 1,110 t→1,130 t (102%) ※ ○共同出荷率 79%→87% ※	○契約先の新規開拓による契約取引の拡大 ○大型出荷容器の導入による出荷作業の省力化 ○ソルゴー(緑肥)との輪作体系の導入による根こぶ病対策の推進 ○農業塾等の取組による定年帰農者等多様な担い手の確保・育成、新規就農者への支援体制の整備 ○地域の余剰労働力、シルバー人材センターの活用
冬レタス	西知多	東海市、知多市	H6.7.8	H7.3.31 H28.3.31	○作付面積 18ha→18ha (100%) ※ ○生産数量 299 t→314 t (105%) ※ ○10a 当たり生産数量 1,660kg→1,740kg (105%) ※ ○出荷量 280 t→250 t (89%) ※ ○共同出荷率 74%→76% ※	○所得率の高いたまねぎとの輪作体系の普及拡大 ○セル成型苗に対応した全自動移植機の導入による省力化 ○予冷庫の活用による高付加価値化の推進 ○規模拡大及び新規栽培者の確保による出荷量の増大、共同出荷率の維持・向上
冬レタス	田原	田原市	S44.8.6	S46.8.31 H28.3.31	○作付面積 71ha→71ha (100%) ○生産数量 1,330 t→1,330 t (100%) ○10a 当たり生産数量 1,873kg→1,873kg (100%) ○出荷量 1,260 t→1,260 t (100%) ○共同出荷率 70%→71%	○規模拡大志向農家に対する農地の利用集積の推進 ○量販店等との契約取引の拡大による農家の経営安定 ○通いコンテナの導入や出荷規格の簡素化、ラッピングの省略等による出荷調整作業の省力化及びコストの低減

※は平成25年産野菜生産出荷統計数値